

赤瓦の製造技術改善

押出成形、水分量管理

支援の背景

沖縄県赤瓦事業協同組合は、主に県内で使用される赤瓦（在来瓦、断熱瓦、重ね瓦、レンガ、タイル等）の生産を行っています。建築様式の変化のため、消費者からより断熱効果の高い瓦が求められています。新しい断熱を考慮した瓦は従来製品と比較をして形状が複雑なので、製造工程の改善について、当センターへ相談がありました。

支援内容

- ①複雑な形状の瓦を押し出すための金型について検討を行いました。
- ②押出成型が安定するように、水分量調整方法についてアドバイスを行いました。



瓦の押出成形



新しい瓦の施工

支援の成果

製造工程の改善の結果、試作品を量産する技術を確立することが出来ました。また、断熱効果の測定を継続して実施しています。現在、この製品は、赤瓦組合において施工法の検討を含め製品化の準備を進めています。